



公益社団法人 兵庫工業会

理事 牛込 智章
(株式会社 IHI 相生事業所)



兵庫工業会 NEWS

2022年 9 月号

発行 / 公益社団法人 兵庫工業会

No.305

相生ペーロン祭から安全を考える — ■ 巻頭言 ■

2022年5月29日(日)、3年ぶりに相生湾にペーロン祭が帰ってきました。相生ペーロン祭は毎年5月に、全長約13mの木造船に32名が乗り、漕ぎ手28名が木製の櫂を漕ぎ、300mの直線コースを1往復または1.5往復し、順位と時間を競う競技です。相生ペーロン祭の始まりは弊社相生事業所の前身である播磨造船所において、長崎出身の作業員により始められたもので、当初は事業所のスポーツイベントでしたが、現在は相生市、相生商工会議所、弊社により「相生ペーロン協賛会」を結成し運営をしています。

例年は1日目に海上花火大会、2日目にはペーロン競漕、陸上パレード等が実施され、メインのペーロン競漕には市内外から約70チームが参加していました。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大により、過去2年間は中止を余儀なくされていました。今年は相生にペーロンが伝わってからちょうど100年目に当たることから、関係各位の並々ならぬ熱意により開催の運びとなりました。新型コロナウイルス感染症対策として前日の花火の中止、選手、関係者、応援者のエリア分け等の対策を実施し、ペーロン競漕には約35チームの参加がありました。最後に関係者一同、安全で安心な大会を開催できた喜びを実感しました。

本年は身近な新型コロナウイルス感染症の他、国内では安倍元首相の銃撃事件、世界的にはロシアのウクライナへの侵攻、米中の台湾をめぐる問題など、近年になく安全に関するニュースであふれています。これらのニュースに接するたびに憤りと何もできない無力感に苛まれる方が多いと思います。

では兵庫工業会と安全との関りはどうでしょうか？勿論、工業製品において事故等を起こさないよう安全性を配慮しなければならないことは言うまでもありません。労働管理における国際規格の例をご紹介しますと、安全とは「許容できないリスクのないこと」のようです。この「許容できないリスク」を少し広げて解釈してみますと、事故だけでなく、資源枯渇、エネルギー問題、環境破壊、地球温暖化、気候変動等も「許容されないリスク」と考えられると思います。これらは現在直面するものもあれば、今から対策を講じなければならないものもありますが、現役世代が解決の道筋を見出さなければならない課題そのものです。兵庫工業会の全ての会員企業の皆様が何らかの関係を持っているものです。僭越ですが弊社相生事業所の例をご紹介しますと、当事業所ではカーボンニュートラル社会の実現に向け、石炭、LNG等の化石燃料からカーボンフリーであるアンモニアへの燃料転換試験を実施しています。また、化石燃料燃焼時に排出される二酸化炭素を回収し、メタン等を合成するメタネーション技術を開発中です。実証試験を進め、社会実装を早期に達成したいと考えています。兵庫工業会および会員企業の皆様のご指導を賜りながら今後も微力ではありますが全力で貢献してまいりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

社会的にはいろいろな困難な状況が続くなか、相生ペーロン祭を開催できたことに感謝し、安全について考えてみました。

ご安全に!

「兵庫工業会より兵庫県への要望」意見書の提出

7月21日(木)、宮協会長、村元副会長、金井副会長、竹田副会長と神門副会長が兵庫県庁を訪問し、兵庫工業会から兵庫県への要望書を片山副知事にお渡しいたしました。

兵庫工業会の会員の皆様からアンケート形式でいただいたご意見に基づき、「人材の確保」と「経済の活性化」に関わり、全8項目の要望をまとめたものです。兵庫工業会が行政に要望書を提出いたしましたのは今回が初めてのこととなります。

宮協会長より片山副知事に要望書をお渡しした後、活発な意見交換が行われました。本要望については、来年2月頃に開催予定の兵庫工業会と兵庫県（産業労働部）との意見交換会にて、次年度予算の話と併せて要望への対応をお伝えいただきます。

以下、要望書の全文となります。

令和4年7月21日

兵庫県知事
齋藤 元彦 殿

兵庫工業会より兵庫県への要望

公益社団法人 兵庫工業会
会長 宮脇 新也

1. はじめに

コロナ禍やウクライナ情勢などにより世界経済が大きく不安定化しており、原材料やエネルギーコストの急激な上昇、物流の混乱やサプライチェーンの分断など、“ものづくり”を取り巻く環境は混迷を極め、県下のものづくり産業も多大な影響を受けている。

このような認識の下、兵庫工業会は、ものづくり企業への支援を県行政と一体感を持って進め、地元経済の活性化に努めたいと考えている。そのため、アフターコロナに向け、ものづくり中小企業にとっては喫緊の課題である「人材の確保」と「経済の活性化」に関わり、以下に示す要望を提出する。

2. 要望

(1) 人材の確保

ア 雇用・採用に関して

- ①県内中小企業における採用機会を増やすため、県が進める「チャレンジひょうご就職大作戦」を着実に実行いただくと共に、海外人材を含め、県内で働く意欲のある人材と受入れ先企業のマッチングや受入れに関する課題への支援（言葉の学習、住居対策などの生活支援や奨学金返済への補助など）をお願いしたい。
- ②県内に新たな産業集積をはかり、関連企業を積極誘致することで、地域での新たな雇用機会の増加を図っていただきたい。
- ③県内の大都市部を除く地域企業を対象に、地域活性化に貢献する企業、女性が活躍する職場づくりに励む企業、障害者を積極雇用する企業などを顕彰する制度を創設していただきたい。
- ④県がすでに取り組んでいるインターンシップ関連事業において、特に、文系学生に県内各地域でのものづくり体験への参加を推奨していただきたい。

イ 企業在职者への技術研修に関して

- ①企業在职者のスキルアップのためのリカレント教育メニューの増設、DX



兵庫県へ意見書の提出

分野など県が強化を目指す重点技術分野（例えば、デジタル技術の普及における情報セキュリティ技術など）への支援を拡大していただきたい。

ウ 理系学生増加を目指した若者教育に関して

- ①中学・高校生を対象に、ひょうごものづくり大学校、兵庫県立工業技術センターや兵庫県立大学などを活用して、授業でものづくり技術のPR機会を設けるなど、ものづくりへの関心を持つ若者づくりに努めていただきたい。併せて、兵庫県立大学をはじめとした高等教育機関に、理系学部定員増の働きかけをお願いしたい。

(2) 経済の活性化

エ 中小企業への支援に関して

- ①県内の多くの中小企業で事業承継が大きな課題となっており、地域の活力維持のために、行政において該当する企業情報をとりまとめ、その情報開示と事業継承のための指導を伴走型でお願いしたい。
- ②地域で事業を続けている“地域貢献企業”に対しては、優遇措置をお願いしたい。

オ デジタル技術の普及に関して

- ①県における業務のデジタル化や、兵庫県立工業技術センターでのロボット活用など、DXの事例づくりに率先して取り組んでいただき、それを公開していただくとともに、ノウハウを中小企業も使えるようにご指導いただきたい。併せて、技術専門学校などの教育機関の設立を含め、デジタル技術に長けた人材やデジタル技術を活用した経営戦略が企画できる人材の育成に関わる施策をお願いしたい。

カ ものづくり技術の高度化に関して

- ①県下のもものづくり企業にとって、不具合発生時の対応や先端・最新技術の相談先として頼りになる存在となる兵庫県工業技術センターの専門員の強化（人員増）と設備の機能向上に取り組んでいただきたい。
- ②兵庫県立大学など、県内の科学技術振興関係者が一堂に集い、兵庫県の科学技術・ものづくり振興のビジョンを協議する機関の設置を検討いただきたい。

キ SDGsへの取組みに関して

- ①SDGs推進に対する兵庫県の独自方針を設定いただきたい。
- ②県下のもものづくり中小企業がSDGsに取り組むことのメリットを示すなど、関連情報の公開と情報発信の強化に努めていただきたい。その際、脱炭素関連設備導入への県独自の補助金制度など、具体的な事例をお示しいただきたい。

ク 社会インフラの整備に関して

- ①「東播磨や淡路における一般道路は渋滞頻度が高く、製品や資材の輸送に困難が生じている」、「明石海峡大橋は大型構造物に対する通行規制があり、海上輸送せざるを得ない場合がある」などの県内物流に関する改善要望の声がある。着実な防災対策と併せて社会インフラ整備への対策を強力に進めていただきたい。

以上

2022年度 現場安全研究会のご案内

～現場の安全意識を見直す／労働災害の未然防止を目指して～

本研究会は企業で労働安全に携わる総務・人事の方、ものづくり現場の管理者・監督者の方に参加いただき、事例研究（工場見学）、危険体験、グループミーティングを通じて、日々潜在的危険や不安全行動を抽出し、労働災害の未然防止等のリスクマネジメント強化を狙います。



現在、募集中ですので奮ってご参加下さい。

【対象】安全管理に携わる部門の責任者や管理者、職場の不安全行為の撲滅をお考えの方、自社の安全管理のあり方を見直されている方 など

【定員】10社（先着順）

【参加費】会員企業：5万円／社（税別） 2名参加 可
非会員企業：7万円／社（税別） 2名参加 可

【開催】4回（3～4時間／回）時間帯は午後
11月15日(火)・12月21日(水)・2023年1月18日(水)・2月6日(月)

お問合先：姫路事務所 [担当：濱中・宮岸] TEL：079-223-8230

2022年度第2回理事会について

2022年8月24日(水)第2回理事会にて、以下の議案について出席いただいた48名の理事及び3名の監事の全員に賛成表決をいただきました。これにより、審議案件は原案通り全て承認いただき、吉井満隆氏が新たに副会長に就任されました。

<議案>

- 第1号議案 副会長選任の件
- 第2号議案 会長に支障のある際の代行者順位決定の件
- 第3号議案 会員の入会について



宮脇会長の挨拶



吉井副会長の挨拶

兵庫工業会の正副会長の新たな体制は以下の通りです。

会 長	宮 脇 新 也	(株)神戸製鋼所	顧問
副 会 長	村 元 四 郎	村元コンサルティング	代表
〃	金 井 宏 彰	金井重要工業(株)	代表取締役社長
〃	竹 田 佑 一	まねき食品(株)	取締役会長
〃	神 門 登	ハニー化成(株)	専務取締役
〃	吉 井 満 隆	バンドー化学(株)	代表取締役会長

神戸市との意見交換会

◇開催日：2022年8月4日(木)

◇開催場所：神戸国際会館

◇出席者：神戸市経済観光局 大畑局長ほか7名 兵庫工業会 宮脇会長ほか13名

◇テーマ：「製造業における基盤強化」「採用機会の増加に向けて」

◇主な意見：

- (工業会)：採用について通年採用にすべき。採用面で大手と中小の格差が広がっている。内定を出す時期も早まっている。一方、定着率が悪いのも問題。メーカーでは人を育てることも重要。
- (神戸市)：神戸市では既に通年採用している。新卒採用と中途採用のどちらが良いかは判断が難しい。人材紹介に関わる神戸市産業振興財団からの支援策がある。
- (工業会)：人材確保には多面的な対応が必要。小中学生にはチャレンジする心を育てる教育、中途採用のためには良好な地域の生活環境・教育環境の提供が、女性や高齢者には職業訓練の場の提供が必要。
- (神戸市)：地域で生活いただくための環境作りは行政の役割。学校の整備や学校との連携によるコミュニティカレッジなども必要。
- (工業会)：外国人労働者を採用したが長続きしなかった経験がある。民間の斡旋業者だけでなく、行政も斡旋をフォローしてほしい。
- (神戸市)：ベトナムからの介護関係者の受け入れを看護大学、社会福祉法人と連携で行った実績はあり。
- (工業会)：東南アジアの人材は、国の支援のある韓国・中国に向かっている。国と連携して安心して働ける国として人材確保にご支援をいただきたい。
- (工業会)：最近の外国人労働者の質の低下は、送り出し機関における教育等に問題がある。借金して日本に来るため条件が良い企業があると、すぐに企業を移ってしまう。一方、日本人経営者も外国人労働者が低賃金で雇えるものと考えてはいけなない。
- (神戸市)：本日は、人材不足の話題が多く出た。外国人の活用を含め、働く場の環境づくりへの支援を頑張りたい。
- (工業会)：行政の皆様の意見交換は継続させることが重要。今、大変な時期であり、だからこそ変革が必要。今後とも、ご支援をよろしくお願いします。



意見交換会の様子

「テクノフォーラム2022」ご報告

8月24日(水)ホテルオークラ神戸におきまして、5経済団体((公社)兵庫工業会・(公財)ひょうご産業活性化センター・兵庫中小企業団体中央会・兵庫県経営者協会・(公社)関西NBC))共催「テクノフォーラム2022」を開催いたしました。

当初予定しておりました3部「交流会」につきましてはコロナウイルス感染症流行拡大のため中止となりましたが、第1部「講演会」、第2部「パネルディスカッション」は開催し、約170名の方にご参加いただきました。

第1部ではメディアにも多数ご出演の神戸学院大学 現代社会学部教授 中野 雅至氏に「混迷の時代を迎えた日本経済・企業の今後」と題し、ご講演いただきました。

日本経済の課題は、コロナ対応、物価上昇、生産性の向上および人材確保の4点あり、特に人材確保は企業にとって最大の懸念材料である。若者や高齢者をどう活かすか、女性活躍をどう実現するかが今後の重要なカギとなるとのことでした。

第2部では中野教授と主催5団体の代表によるパネルディスカッション「今、SDGsにどう向き合うべきか」が兵庫工業会 金井副会長の司会で行なわれ、各団体によるSDGsの取り組み紹介や、これからの取り組みの方向性など議論されました。

SDGsに中小企業が取り組むにあたってのハードルを下げるための支援が行政・団体に求められることや、ものづくり企業においては既にSDGsを実践されているところが多く、SDGs活動をする必要がある等、活発な意見が交わされました。

最後にご来賓として近畿経済産業局 伊吹局長、兵庫県 片山副知事からご挨拶をいただきました。

伊吹局長からは、交流会が中止になったことが残念であり、このような交流の場づくりを進めてほしい旨、片山副知事からはコロナウイルス感染症の県状況と今後の対応策についてご説明いただきました。

最後に今回のイベント開催にあたり、共催団体の皆様、ご登壇者の皆様、参加していただきました皆様に厚く御礼申し上げます。



宮脇会長の挨拶



講演される中野教授



伊吹近畿経済産業局長ご挨拶



片山兵庫副知事ご挨拶



パネルディスカッションにて司会される金井副会長



パネルディスカッションの会場の様子

兵庫工業会地域交流会開催について

兵庫工業会は、地域の要望を踏まえたきめ細かい事業運営を行うために、今回、但馬地域の会員の皆様にお集まりいただいて「地域交流会」を開催し、ご意見をお聞きしました。

以下、開催内容を記します。

1. 但馬地域交流会

(1)開催日 2022年7月15日(金)

(2)開催場所

- ・企業見学会：美岡工業(株)
- ・意見交換会：湯村温泉 佳泉郷井づつや

(3)参加者

- ・但馬地域企業から 15名
- ・その他地域企業から 8名
- ・会員交流委員会委員 3名
- ・兵庫県3名、但馬県民局3名、兵庫県立大学1名
- ・兵庫工業会 宮脇会長・神門副会長 他事務局を含め、計40名の方々にご参加いただきました。



参加者の集合写真

(4)意見交換会

コロナ感染対策を徹底し、意見交換会を行いました。会員交流委員会の中川委員の司会のもと、以下のことが話題になりました。

- ・人手不足の問題に加え、材料不足により資材も値上がりする一方で、価格転嫁が難しい状況にある。
- ・南海トラフ大地震が言われている割りに、BCP対策として日本海側への会社移転や企業との連携と言った動きが見られないのが心配される。
- ・中小企業（経営者）にとって働き方改革への対応が喫緊の課題である。働き方改革で労働時間を減らしても従業員の能力アップでカバーできるように社内改革していきたい。
- ・工業従事者が少ない地域であり、普段、行政との接点も少なく、このような場は大変貴重である。

意見交換会に引き続き交流懇親会を行い、事業継承など但馬地域にかかわらず多くの課題があることが分かり大変有意義な場となりました。



意見交換会の様子



交流懇親会の様子

2. 中播磨地域交流会（予定）

(1)開催日 2022年12月13日(火)

(2)開催場所

企業見学会：調整中

意見交換会：ホテル日航姫路

詳細決まり次第ご案内いたします。

皆様のご参加をお待ち申し上げます。

論文コンクール募集のご案内

ものづくり企業を支える社員の皆様に、社会人としての自身の考えや思いを伝える力を身に付けていただくため、今年も産業論文コンクールを実施し、現在、募集中です。論文作成により、文章力、思考力、課題解決力などを培い、人材育成に役立てていただけるものです。

■論文テーマ：『社会人としてのこれからの夢』

『ものづくり企業の魅力とあるべき姿』

※上記テーマから1つを選んでください。

■応募資格：兵庫県下の企業に勤務する、満30歳以下の方

※応募は2回までとさせていただきます。

ただし、受賞された方につきましては、ご応募はご遠慮願います。

※外国人従業員の方からのご応募も歓迎いたします！

■応募期間：2022年8月1日(月)～2022年11月30日(水)〈必着〉

■論文文字数：3,200文字～4,000文字（横書き）

※論文に引用した文章・グラフ・数値等がある場合は、引用先を明確に記載してください。

■応募方法：1. 「表紙」「要旨」「本文」「図・グラフ・参考文献」で構成 ※本文のみを審査します

2. 表紙に自己紹介（氏名・ふりかな・生年月日・会社名・所属部署・入社年月日・所属先住所）を明記。※文字数に含めない。

3. 用紙はA4とし、Wordデータとする。

論旨を記述の上、Eメール（ronbun@hyogo-ia.or.jp）にて事務局までお送りください。

※論文データ確認後、事務局より受付のご連絡をさせていただきます。

また、ご記入いただきました情報は本事業実施のためのみ使用させていただきます。

■審査：一次・二次審査後、兵庫工業会有識者による最終審査を経て、2023年3月末日に兵庫工業会ホームページにて結果発表いたします。

■表彰：2023年5月開催の兵庫工業会 通常総会時に表彰式を実施いたします。

最優秀賞 1名 副賞5万円

優秀賞 1名 副賞3万円

優良賞 2名 副賞2万円

奨励賞 2名 副賞1万円

審査員特別賞 4名 副賞5千円※

※今回は、第10回目を迎える論文コンクールの為、審査員特別賞を設けます。（今年度限り）

※最優秀作品は、兵庫工業会ニュースに掲載いたします。

■その他：募集案内を兵庫工業会ホームページからご覧いただけます。



お問合せ

公益社団法人 兵庫工業会 事業推進部

◆姫路事務所 担当：宮岸 TEL：079-223-8230 FAX：079-223-8231

◆神戸事務所 担当：井内 TEL：078-361-5667 FAX：078-371-4336

女性会 見学会ご報告

6月8日(水)、大阪府堺市にある世界遺産の「仁徳天皇陵古墳(大山古墳・大仙陵古墳)」と堺市内の名所を見学させていただきました。梅雨時にもかかわらず、お天気に恵まれ、暑すぎず、ちょうどよい気候でした。コロナ禍のため、2年ほど見学会ができておりませんでしたので、久しぶりに会員間の親睦を深めることができました。

今回の見学会のメインである仁徳天皇陵古墳は、世界三大墳墓の一つと言われており、(他の二つは、エジプトのクフ王のピラミッドと中国の秦の始皇帝陵だそうです。)全長約486メートル、周囲2.85キロメートルのとても大きい古墳です。その地域にある他の古墳とともに、「百舌鳥・古市古墳群」として、2019年に世界遺産に登録されました。

まずは、堺市博物館で堺の歴史や文化に触れてから、仁徳天皇陵古墳を見学しました。しかし、古墳は大きすぎて、外からはお濠に囲まれた森のようにしか見えません。その後、堺市役所21階にある展望ロビーへ移動し、堺市の街並みを一望しました。展望ロビーからであれば、仁徳天皇陵古墳の前方後円墳の形が認識できるのではないかと期待しましたが、高さは約80メートル、残念ながら、この高さからでも森のような形しか見えず、古墳の大きさを再認識することになりました。

昼食時には総会を行い、2021年度決算報告・事業報告及び2022年度の活動計画についての説明を受け、参加者全員で今年度の見学先について話し合いました。

昼食後は、堺にゆかりのある千利休や与謝野晶子を通じて堺の歴史や文化に触れることができる「さかい利品の杜」、「千利休屋敷跡」、「堺伝統産業会館」や「堺市立町家歴史館山口家住宅」を見学しました。見どころがありすぎて、駆け足となった名所もありましたが、現地ガイドの方から詳細な説明を受け、比較的近い場所にありながらも知らなかった堺の魅力に触れ、充実した見学会となりました。

文責：女性会 宮家 史子(みやけ司法書士・FP事務所 司法書士)



仁徳天皇陵古墳にて集合写真

採用イノベーションスクール

人材確保に悩んでいませんか？

今、企業に「いま」求められる「採用力」を学びましょう！

「説明会に求職者が集まらない」「自社の良さが求職者に伝わらない」
「U・I・Jターンで人材確保したいけど、何を伝えればいいかわからない」
「求職者の気持ちを自社に向けることができない」

こんな悩みのある人事担当者は、ぜひ受講してください。

申し込み、お待ちしております。



受講の様子

1. 但馬

開催日 2022 11/25⇒11/26 (全2回)

会場 但馬 豊岡市民プラザ7F 練習室

定員 12名(要事前申込)

参加費 5,000円/人

2. 北播磨

開催日 2022 12/16⇒12/17 (全2回)

会場 調整中

定員 12名(要事前申込)

参加費 5,000円/人

【お問合先】神戸事務所【担当：石橋】 TEL：078-361-5667

兵庫バイオインダストリー研究会 ご報告

兵庫バイオインダストリー研究会では、6月23日(火)に第36回『総会』・第41回『特別講演会』を開催。

特別講演会では、『切らないゲノム編集、Base editingとPrime editingの原理と現状』という演題で、この分野の第一人者である、神戸大学大学院科学技術イノベーション研究科教授 西田 敬二氏を講師としてお迎えし、ゲノム編集の原理について基礎から最先端まで解説して頂くとともに、その応用の現状と将来の可能性についてお話しいただきました。

兵庫バイオインダストリー研究会の今後の行事予定

●2022神戸大学 農学研究科/業界説明会

1. 日 時：10月14日(金) 12:15～16:00 延長あり

2. 内容詳細

(12:15-13:05) 第1部 エントリーシート対策講座(仮題)

(場所) 農学研究科大会議室

(13:10-16:00) 第2部 業界説明会

(場所) 農学研究科会議室301

【参加予定企業】 卒業生就職先企業・自治体(8社程度)、兵庫工業会(2社程度)

※兵庫バイオインダストリー研究会に興味をお持ちの企業の方、バイオ関連の研究・開発に携わっておられる方など、研究会へのご入会をお待ちしております。

お問合せ先：神戸事務所〔担当：本間・井内〕 TEL：078-361-5667

2022年度 CAD機械製図コース ご案内

兵庫技術研修大学校では今年もMHI NSエンジニアリング(株)にご協力いただき「CAD機械製図コース」を開講します。JISに規定された機械製図ルールを講義で学び、2DCADを用いた演習により理解を深め、機械製図の基礎知識を習得できるコースとなっています。現在募集中ですので、奮ってご参加ご検討下さい。

【対象】 CADを用いて機械製図の基礎を学びたい方

最新AutoCADの操作を身に付けたい方

【定員】 10名 ※定員になり次第締切ります

【研修会場】 MHI NSエンジニアリング会社 CAD研修センター

会 員 66,000円 非会員 82,500円(税・テキスト代)

【日程】 10月28日(金)・11月4日(金)・11月11日(金)・11月18日(金)・11月25日(金)

【お問合せ先】 神戸事務所〔担当：田辺・井内〕 TEL：078-361-5667

会員交流懇親会“忘年パーティー”のご案内

新型コロナウイルス感染症の感染拡大のため、去年、一昨年と2年間開催できませんでしたが、今年こそはと、12月2日(金)に会員交流懇親会“忘年パーティー”を開催すべく準備を進めております。

会員の皆様の交流を深める目的のもとに開催し、福引大会も予定しております。

是非ともご参加いただきますようよろしくお願い申し上げます。

尚、詳細につきましては改めてご案内させていただきます。

開催要領

日 時：2022年12月2日(金) 午後

場 所：神戸ポートピアホテル（神戸市中央区港島中町6-10-1）

会 員 動 向

代表者登録変更

企 業 名	新 登 録 者	旧 登 録 者	変 更 月
神鋼環境メンテナンス株式会社	代表取締役社長 小武海 陽	箕輪 元	2022年6月
神戸土地建物株式会社	代表取締役社長 高田 厚	中尾 一彦	2022年7月
日清鋼業株式会社	代表取締役社長 山本 博史	金澤 康雄	2022年8月

イベント情報

月 日	事業名・内容	場 所
10月27日(木)～28日(金)	会員交流見学会	川崎重工業(株)坂出工場、別子銅山他
11月25日(金)～26日(土)	採用イノベーションスクールinTajima（豊岡）	豊岡市民プラザ
12月2日(金)	会員交流懇親会	神戸ポートピアホテル

ご入会・セミナー・講演会・研修などのお問合せ・お申込みは…



公益社団法人 兵庫工業会

本 部 | 〒650-0011 兵庫県神戸市中央区下山手通6丁目3番28号 兵庫県中央労働センター 3階
TEL 078(361)5667 / FAX 078(371)4336
Eメールアドレス mail@hyogo-ia.or.jp
URL http://www.hyogo-ia.or.jp

神戸事務所 | 〒650-0011 兵庫県神戸市中央区下山手通6丁目3番28号 兵庫県中央労働センター 3階
TEL 078(361)5667 / FAX 078(371)4336

姫路事務所 | 〒670-0962 姫路市南駅前町123 じばさんびる 3階
TEL 079(223)8230 / FAX 079(223)8231